

就労に向けて、作業系・事務系、豊富な「実践訓練」で色々な可能性が見つけられる事業所です！



社会福祉法人 **やまとみらい福祉会** オルタハ乙女

【自立訓練(生活訓練)・就労移行支援・就労定着支援】

オルタ通信

2024年
春号



〒981-3112

仙台市泉区八乙女4丁目1-1 ドーミーハ乙女1階

☎ 022-346-7142、Fax 022-346-7143

HP <http://www.yatomimirai.or.jp>

メール alte-yaotome@yatomimirai.or.jp

事務訓練の一環により、訓練生の皆で『オルタ通信』を作成しています。

春夏秋冬の年4回発行中です。

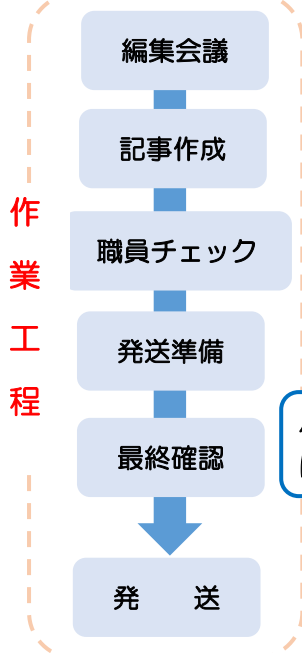


オルタ通信作成の裏側をご紹介！

～毎回、皆でアイデアを出し合い、役割分担をしながら作っています～



写真は、全体で記事を作成している様子。一つの部署のイメージで取組んでいます。



事務系特例子会社へ見学実習 ～仕事を行う姿勢を作る、望む就職先を考える～

今回、私は事務系の特例子会社(※)に3日間実習に行きました。普段オルタで事務訓練に取り組んでいることへの自信と、どんな環境・作業を行うのか期待・緊張が混ざり合っていました。実習では、入力作業を中心に行いました。実習初日は緊張や焦りで入力ミスが多くありました。担当社員の方からアドバイスを頂き、落ち着いて確認することを心がけたことで実習最終日にはミスを少なくできました。また、初日は対応件数が6件でしたが、最終日には18件に伸ばすことができ、嬉しかったです。

実習を通して、働く環境を実際に体験し、望む就職先の方向性を考えることの重要性を実感しました。今後も実習する経験を増やしていきたいです。



※特例子会社は、障害をもっている方が多く働き、障害に対する配慮が受けやすい職場です。

模擬面接～面接の本番力を身に着ける～

模擬面接は、月に1回職員が面接官となり面接の練習を実施。実際にスーツを着て、指定された時間にオルタ八乙女に向かい、本物の面接と同じように行います。

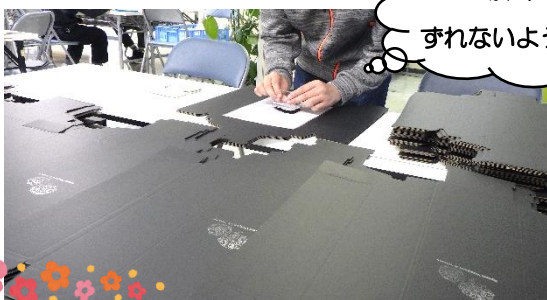
事前に質問の答えを考えて、面接で答えられるか、助言されたことが改善できたかが試されます。

私は今年初めて模擬面接を受けて、最初は、服装や声量などの助言を受けましたが、繰り返し練習をして本番に向けて頑張っています。



ワイン箱折&押印作業、手がけました～こうしてワインがお客様の手に!～

ワイナリー作業の一環で、オルタ事業所内でダンボール製のワインギフト箱の組み立てや押印作業を行っています。箱は、折り線以外に折り目が見つからないよう組み立て、押印では箱や紙袋の中心にきれいに押す必要があります。いずれも慎重さが重要です。お客様が手に取った時に、満足される様子をイメージしながら完成させています。



➤ ご利用をお考えの皆様へ、**見学・体験可能**です。**駐車場**もあり(台数に限りあり)、車通勤もご相談頂けます。

➤ **関係機関の皆様へ見学会、出張講座実施中!**

～まずはお気軽にお問い合わせ下さい～

☎ **022-346-7142**

(平日9:00～18:00)

メール alte-yaotome@yamatomirai.or.jp

ポップのL字カット～企業様委託作業～

オルタ八乙女では、企業様から上記の作業を依頼いただいています。作業の目的は、刃物を使うため、**道具の扱い方や安全に作業を進める**ために必要なスキル(経験)を身につけることです。

作業の流れは、ポップの紙を用意し印刷されていない所をハサミで切ります。



次にカッターと定規を使い6箇所切ります。綺麗に切るのが難しいです。

(↑定規が、動かないように抑えて切るのがコツです)
完成したポップは、企業様に納品し、店頭で商品のポップとして使います。

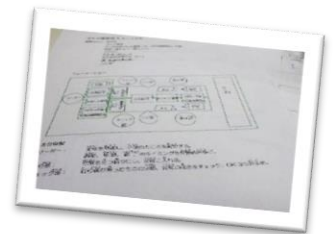
作業マニュアル絶賛作成中!

現在、事務訓練作業のマニュアル化を進めています。私自身も特性上、口頭のみでの指示理解が難しいため、初めての作業や不慣れな作業の時には、自分用にマニュアルを作成していました。今回共通のマニュアル作成を任されたことにより、各種作業について改めて振り返ることができました。また、言葉の選び方について考える上でも、良い機会になりました。

さらに時間が来れば、みんな自発的にマニュアル図通りに机を配置する等、嬉しい変化も出ています。

新しい人がスムーズに作業ができるよう、自分自身の作業に対する理解度もより高め、分かりやすいマニュアル作成を心掛けたいです。

作成したマニュアル。メンバーから「わかりやすい」と好評です!→



編集後記

今年も引き続き事務訓練に参加し、新鮮な気持ちで編集を行いました。4月号と増刊号の2種類を担当するのが初めてで、記事ごとに責任を持って編集を考える良い経験になりました。増刊号のデザインはそれぞれの訓練生や卒業生のことを考えて、イメージに合うようにデザインできたのは良かったです。

※作成メンバー：OA・TZ・ST・TR・IK・SK・IR

就労に向けて、作業系・事務系、豊富な「実践訓練」で色々な可能性が見つけれられる事業所です！



社会福祉法人 やまとみらい福祉会 オルタハ乙女

【自立訓練(生活訓練)・就労移行支援・就労定着支援】

オルタ通信

2024年
増刊号



〒981-3112

仙台市泉区八乙女4丁目1-1 ドーミー八乙女1階

☎ 022-346-7142、Fax 022-346-7143

HP <http://www.yatomirai.or.jp>

メール alte-yaotome@yatomirai.or.jp

暖かい春の季節を迎え、何かを始めたいと思っている人は多いのではないのでしょうか？
今回初の『オルタ通信 増刊号』では、オルタハ乙女の利用を通して活躍している訓練生
や卒業生の声をお届けします！皆さんも新しい一歩を踏み出しませんか？



オルタハ乙女 訓練生のご紹介♪～今年1月から利用を開始！～

○オルタハ乙女に決めた理由は？

支援機関から紹介を受けたことがきっかけです。複数の事業所を見学しましたが、作業内容が施設内作業と施設外作業、豊富にあることが決め手でした。私自身今まで働いたことがなく、何が得意で不得意なのか分かりません。また、どんな仕事があるのかも知らない状況です。そのため、様々な作業内容を経験することにより、できる事・できない事を把握し、向いている仕事を見つけることができると感じました。

○実際に通所をして…

とても良かったと感じています。支援員の皆さんもとても優しく、親身になってくれるので安心して利用しています。また、訓練生同士も仲がいいです。月に一度、土曜開所があるので卒業生の方とも交流できます。様々な作業内容があるので自分の得意、不得意を見つけることが少しずつできるようになってきました。また、他の事業所では体験できないようなワイナリー作業や、野球場の清掃活動なども経験できました。これからも様々な作業内容にチャレンジしていきたいです。



オルタハ乙女を卒業します！～今年4月からアパレル関係の仕事に就職決定～

○オルタ1年目

オルタでの1年目は、離職後に食欲が落ちた状況で昼食も食べずに周囲に心配をかけていました。職員さんに生活習慣改善のため相談をし、食事を1日3食食べる事、働く為に必要な体力を身に付ける事を目標にしました。1年目でこの目標は達成できました。今後も続けていきます。

○オルタ2年目

プロフィールシート作成のため、障害について職員さんと話し、自身の障害の理解と配慮事項を確認しました。その他積極的に見学や実習に参加し、やりたいと思える仕事を探しました。こうして今回就職の決まった会社様(アパレル関係バックヤード/特例子会社)を見つけ実習し、衣類の在庫や出庫などの作業を行いました。覚える事が多く、作業量も多かったので1日の中で終わられないことが多かったですが、実際に仕事として頑張っていきたい気持ちが強くなりました。障害に理解のある優しい従業員さんたちの中での仕事に安心感を覚え、この職場で働きたいと思えました。



オルタハ乙女卒業生の活躍！講座や研修会の場で、自分の経験を伝えました♪

精神科病院デイケアで、自分の経験を伝えたこと

私は、就労移行支援を利用した後、障害者枠でホテルに勤務しました。現在は、オルタハ乙女でピアスタッフとして働いています。この度、精神科病院のデイケア利用者の皆様に、自分がオルタを利用していた時に経験したことをお話ししました。

私は、主治医の先生からオルタを教えてくださいいただき利用を開始しました。先生から勧めていただいた時は、「自分が2年間で就職するなんて無理」と思いました。しかし、通常のカリキュラムの他に1分間スピーチで話す練習をしたり、個別に公共交通機関に乗る練習をさせていただいて本当に2年間で就職することができました。

初めて自分の経験を話して、私が「こんなこともできないなんて、自分はダメだな」と感じて悩んでいることが、他の方も同じように悩みの種であることを知ることができました。他の方も同じような所でつまずいているのかも気付けたことは、私にとってとても大きな収穫でした。

今回実感できたことを常に意識して、これからもピアスタッフとして働いていきたいと思います。

= S さん編 =



今日は体験者の方が来るので、訓練生の皆に知らせないと...



福祉サービス関係者に向けて、研修会で伝えたこと

私は現在、食品関係の仕事をしています。令和6年2月に50人程の福祉サービス関係者等を対象とした研修会で、自分の経験を伝えました。

私は、当時、自分に障害がある事がわからず、一般枠で寿司屋の見習いやショッピングバスの運転手、建物クリーニング等の仕事をしました。作業工程の多い仕事は、対応が難しかったです。その後、自分の障害を知り、何十年も大事にしていたコップが壊れた時のような気持ちになりましたが、きつい仕事に行く事もなくなった安心感や、オルタで頑張る気持ちで切り替えました。オルタに通い、障害枠で今の職場に就職して、時間を忘れるくらい集中できることにやりがいを感じています。また、自分から一人にいる人を気にかけて声をかけるようになりました。その経験が役に立ち、職場でも自分から話せるようになっていきます。

研修会当日、初めは緊張しましたが、伝えようと思っていたことを話せて、自分の事を聞いてもらえて良かったです。これからも職場の人や友人、相談員さん、ヘルパーさん、オルタと上手くやりつつ、家族同然の飼い猫が長生きしてくれることを願って今の生活を続けていきたいです。

= K さん編 =

毎日あっという間に時間が過ぎて、充実感を感じています！



オルタハ乙女では、就職がゴールではなく、訓練生の皆さんが「社会で活躍すること」を目指しています！

見学・体験可能です。お気軽にお問い合わせください。

【平日9:00~18:00/電話022-346-7142】